

☆☆「強く 正しく 健やかな西小っ子」に！☆☆

大村市立西大村小学校  
学校だより

## 一歩前へ

文責：校長 高木 修  
令和8年10月19日No.12

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

### ◆ 西中校区PTA球技大会

10月11日（日）に、西大村中学校の体育館にて、標記球技大会が開催されました。種目は、「ソフトバレーボール」と「ドッジビー」の2種目です。ソフトバレーボールは、各校2チーム、ドッジビーは各校1チームで、それぞれ、中央小と西大村中と対戦しました。何と、ソフトバレーボールは優勝と準優勝、ドッジビーは優勝という結果でした。私はドッジビーに参加させていただきましたが、和気あいあいとした雰囲気の中にも白熱した対戦ができ、とても楽しかったです。今年度は、運営の担当が西大村小学校でしたが、PTA役員の皆様のおかげで、心地良い時間を過ごすことができました。ありがとうございました。参加いただいた31名の保護者の皆様と先生方にも感謝します。そして、お疲れ様でした。



### ◆ 交通安全を意識して…

10月15日（木）の子どもたちの登校時間に、「大村市連合防犯協会」主催で、「事件・事故防止の啓発チラシ」が子どもたちに配布されました。この活動は毎年、10月の「全国地域安全運動」の一環として、大村警察署・大村地区保護司会・大村地区更生保護女性会・市安全対策課から数名ずつ来ていただき、実施されるものです。今回のチラシは、自転車の盗難防止対策として、カギかけの徹底を呼びかけるものでした。また、チラシには、ヘルメットの着用を警察が促進していることにも触れてありました。ヘルメットの着用は、もちろん本校でも、機会あるごとに子どもたちに話をしていますが、道路交通法では、自転車に乗る人の努力義務だけでなく、保護者が子どもに着用させることも努力義務となっています。各御家庭でも、是非話題にされてみてください。

それから、子どもたちの安全に関わることで、先日、地域の方と話す機会がありました。そして、危険な場面として、以下の御指摘を受けました。

- 1 ながせ付近の踏切で遮断器が下りた際に、その遮断器を掴んで待っている子を見かけたことがある。
- 2 校門側の通学路はとても狭いのに、3人ほどで広がって歩いたり、白線からはみ出して車道を歩いたり、前の子を無理に追い抜いたりしている子がいる。
- 3 植松ふれあい公園付近の車道をリップスティックに乗って移動している子がいる。

※ リップスティックとは、前後に分かれた2枚の板が中央でつながり、左右にひねって進むスケートボードより細長く、タイヤが2輪の乗り物のこと（右画像）



このことについては、生活指導主任の先生から、校内放送や全校集会で子どもたちに話をしてもらい、指導を行いました。子どもたち一人一人が自分の命を守る行動ができるよう、これらのことについても、各御家庭で子どもたちと話をしていただけたらと思います。

※ チラシの配布に来られた方々から、「子どもたちの元気なあいさつが素晴らしいですね。」というお褒めの言葉をいただきました。いつも朝から校門に来てくれる皆さんのおかげです。ありがとうございます。